ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	BV-3(測点NO.10C)	調査位置						北　緯	36 ° 39 ' 44.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-09-27 ～ 2008-10-01			東　経	140 ° 10 ' 45.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	76.44 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	7.30 m							試 錐 機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	76.04	0.40	0.40		表土 (SF)	暗褐			含水少なく粘性中位 シルト主体で少量の礫を混入する		
1 2 3 4	72.14	3.90	4.30		砂礫 (GS)	褐灰			含水少ない φ30mm以下の砂岩の角礫が主体 φmax80mm程度 マトリックスは細～中砂主体 全体にゆるくガサガサしている 所々に粘土分を混入する GL-3.0～3.35mは礫混り粘土を挟む GL-3.35m以深は砂岩片の玉石を点在する		09/27 2.45 09/30 3.91
5 6 7	69.14	3.00	7.30		砂岩 (Ss)	灰			全体にやや硬質であるが、割れ目が非常に多い コアは一部短棒状となるも、ほとんどが岩片状～礫状で採取される 4.3～5.0mは亀裂面が褐色を帯びる 5.55～6.0mは貫岩を挟む		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15				6／30	6
1.45	2	2	2		
2.15				7／30	7
2.45	2	3	2		
3.15			45／5	50／25	>50
3.40	2	3			
4.15	45	5／1		50／11	>50
4.26					
5.00	50／1			50／1	>50
5.01					
6.00	50／0			50／0	>50
6.00					
7.00	50／0			50／0	>50
7.00					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				09/27
				09/29
				09/30
				10/01